

平成13年7月

標  
津

# YOSAKOI版にアレンジ 新「キラリ音頭」が完成 来月、町民祭りで初披露

【標津】「標津町民祭り水・キラリ」(八月四五の両日)で、山車の列とともに終幕を飾る「キラリ音頭」のYOSAKOI版が完成した。前夜祭で、地元のYOSAKOIチームが踊りを初披露する。



祭りの実行委員会は、来年以降、若者がこの曲で踊れる場を設けたい、という。

緑色や黄色の扇子片手に、けいこに汗を流すメンバーら

「キラリ音頭」は中標津在住の作曲家牧野昭一さんの作詞・作曲。YOSAKOI版も牧野さんが「若者にも参加しやすいキラリ音頭を」と発案し、六月、盆踊り風の原曲を基にアップテンポの曲調に仕上げた。

前夜祭の八月四日に踊りを披露するのは地元のYOSAKOIソーランチーム「標津」遊舞乱ゆうまいらん」。踊りの振り付けは小岩晶子代表が担当した。

けいこは七月上旬から開始。中旬からはメンバー約四十人が週三回、町生涯学習センターなどに集まって細かい振り付けの確認に励んでいる。

小岩さんは「来年のYOSAKOIソーラン祭り(札幌)にもこの曲で出場したい」と話し、同実行委は「祭りが著者に浸透するきっかけになってほしい」と期待している。